

ヤングケアラーの実態に関する調査研究について

令和2年度 子ども・子育て支援推進調査研究事業
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

調査の目的

「ヤングケアラーと思われる子ども」等の実態をより正確に把握し、今後の検討に活かす。

調査の対象、方法等

1 学校

令和2年12月21日から、以下の学校に対してアンケート調査を実施（④は令和3年1月26日から）。

- ① 中学校（回収数754、回収率75.4%）
 - ・ 全国の公立中学校から層化無作為抽出した1,000校（全体の約1割）
- ② 全日制高校（回収数249、回収率71.1%）
 - ・ 全国の公立全日制高校から層化無作為抽出した350校（全体の約1割）
- ③ 定時制高校（回収数27、回収率57.4%）
 - ・ 各都道府県より公立定時制高校1校抽出した47校
- ④ 通信制高校（回収数35、回収率74.5%）
 - ・ 各都道府県より公立通信制高校1校抽出した47校

2 中高生

令和2年12月21日から、以下の中高生に対して Web調査を実施（④は令和3年1月26日から）。

- ① 中学2年生（回収数5,558人）
 - ・ 1①の中学校に在籍する中学2年生
- ② 全日制高校（回収数7,407人）
 - ・ 1②の全日制高校に在籍する高校2年生
- ③ 定時制高校（回収数366人）
 - ・ 1③の定時制高校に在籍する高校2年生相当
- ④ 通信制高校（回収数446人）
 - ・ 1④の公立通信制高校に在籍する生徒

注：定時制高校、通信制高校の調査結果はサンプル数が少ないため、参考値として掲載している

本調査におけるヤングケアラーの定義

本調査における「ヤングケアラー」とは、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」をいう。

(ヤングケアラーのイメージ (例))



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



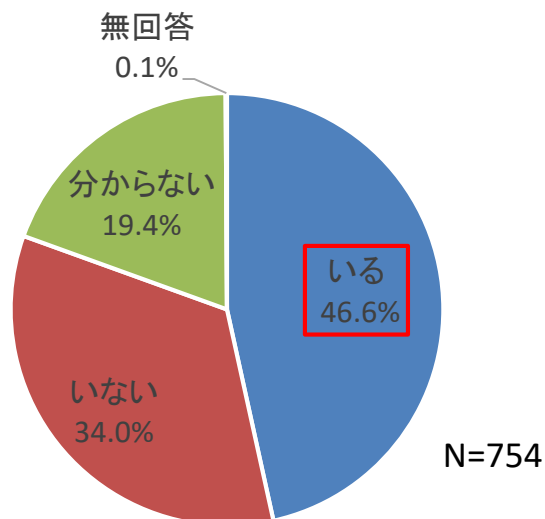
障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

©一般社団法人日本ケアラー連盟「こんな人がヤングケアラーです」

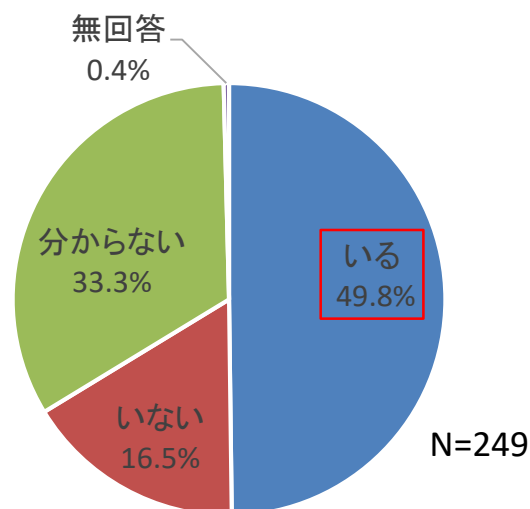
学校調査結果①

- 学校に対し、ヤングケアラーの定義（2ページ参照）に該当すると思われる子どもの有無について質問。
- いずれの学校種でも「いる」が最も高く、定時制高校で70.4%、通信制高校で60.0%であった。

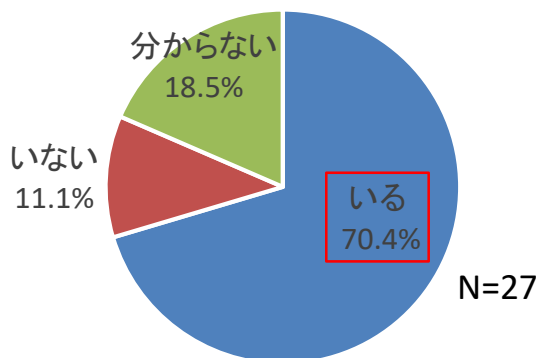
【中学校】



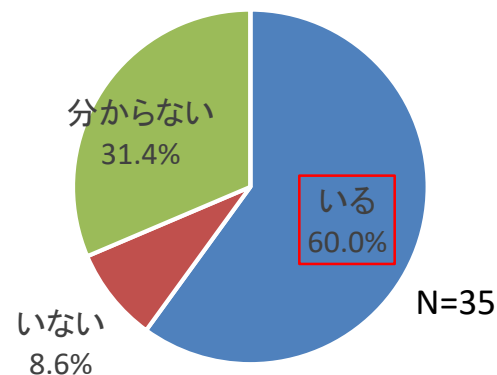
【全日制高校】



【定時制高校】

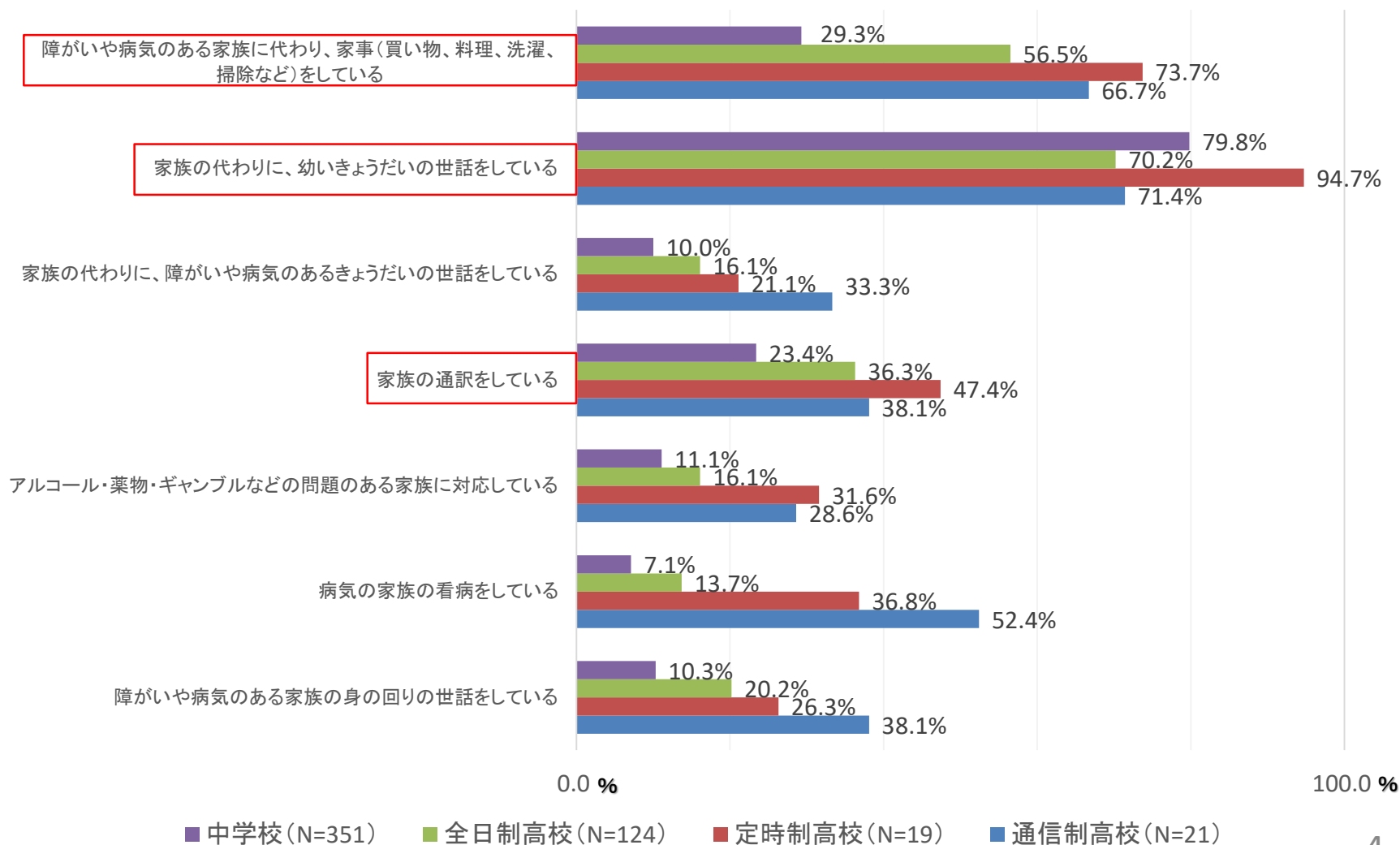


【通信制高校】



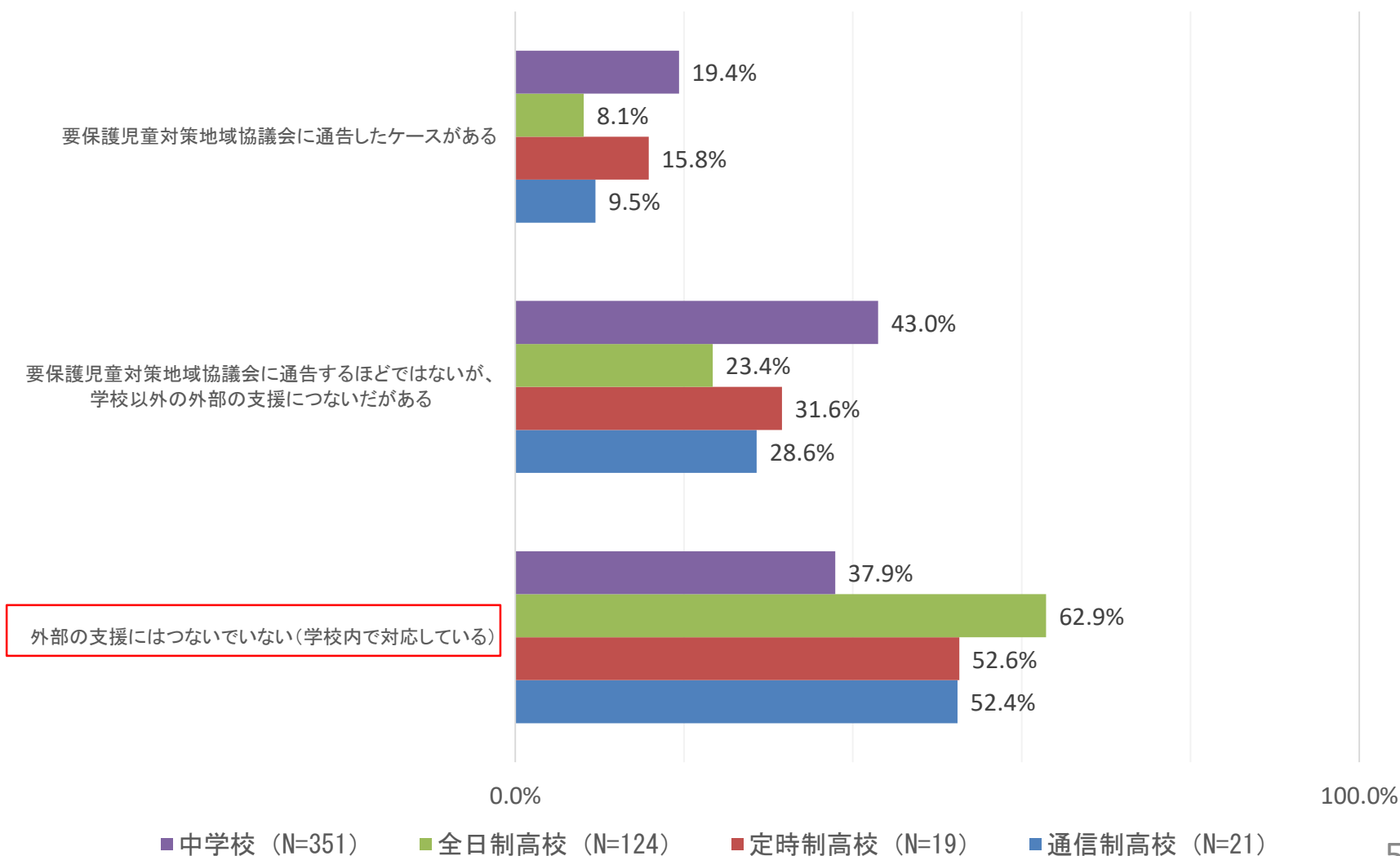
学校調査結果②

- ヤングケアラーと思われる子どもが「いる」と回答した学校に、子どもの状況について質問（複数回答）。
- いずれの学校種でも、「家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている」が最も高い。次いで「障がいや病気のある家族に代わり、家事（買い物、料理、洗濯、掃除など）をしている」が多い。
- 全日制高校では「家族の通訳をしている」が3～4割程度みられた。



学校調査結果③

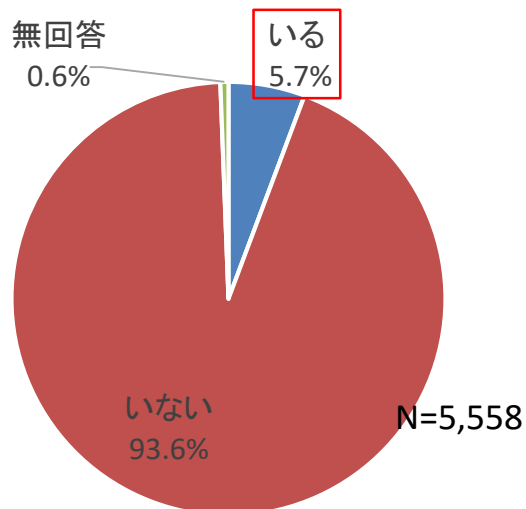
- ヤングケアラーと思われる子どもが「いる」と回答した学校に、当該子どもを学校以外の外部の支援につないだケースがあるか質問（複数回答）。
- 全日制高校では、「外部の支援にはつないでいない（学校内で対応している）」が6割程度。



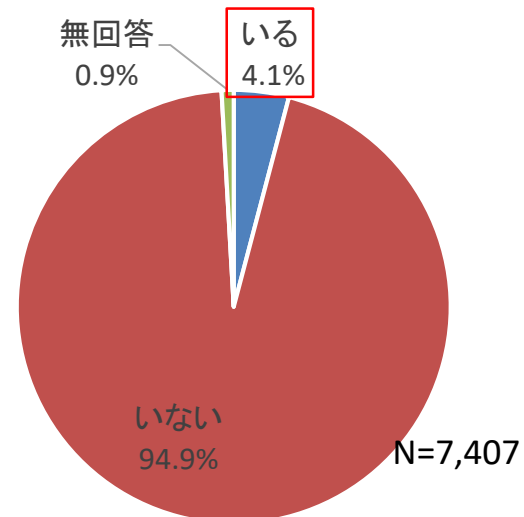
中高生調査結果①

- 中高生に対し、世話をしている家族の有無について質問。
- 世話をしている家族が「いる」と回答したのは中学2年生で5.7%、全日制高校2年生で4.1%、定時制高校2年生相当で8.5%、通信制高校生で11.0%。

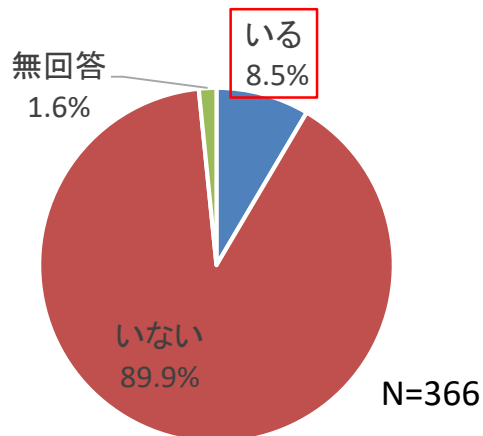
【中学2年生】



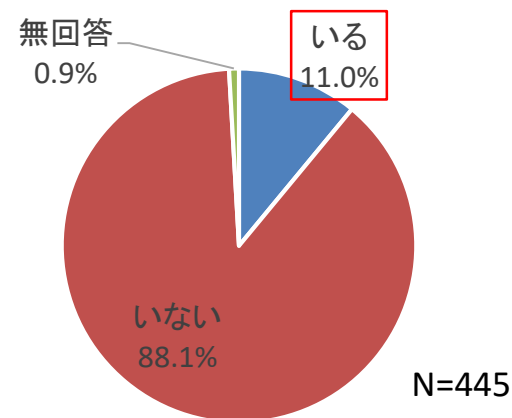
【全日制高校2年生】



【定時制高校2年生相当】



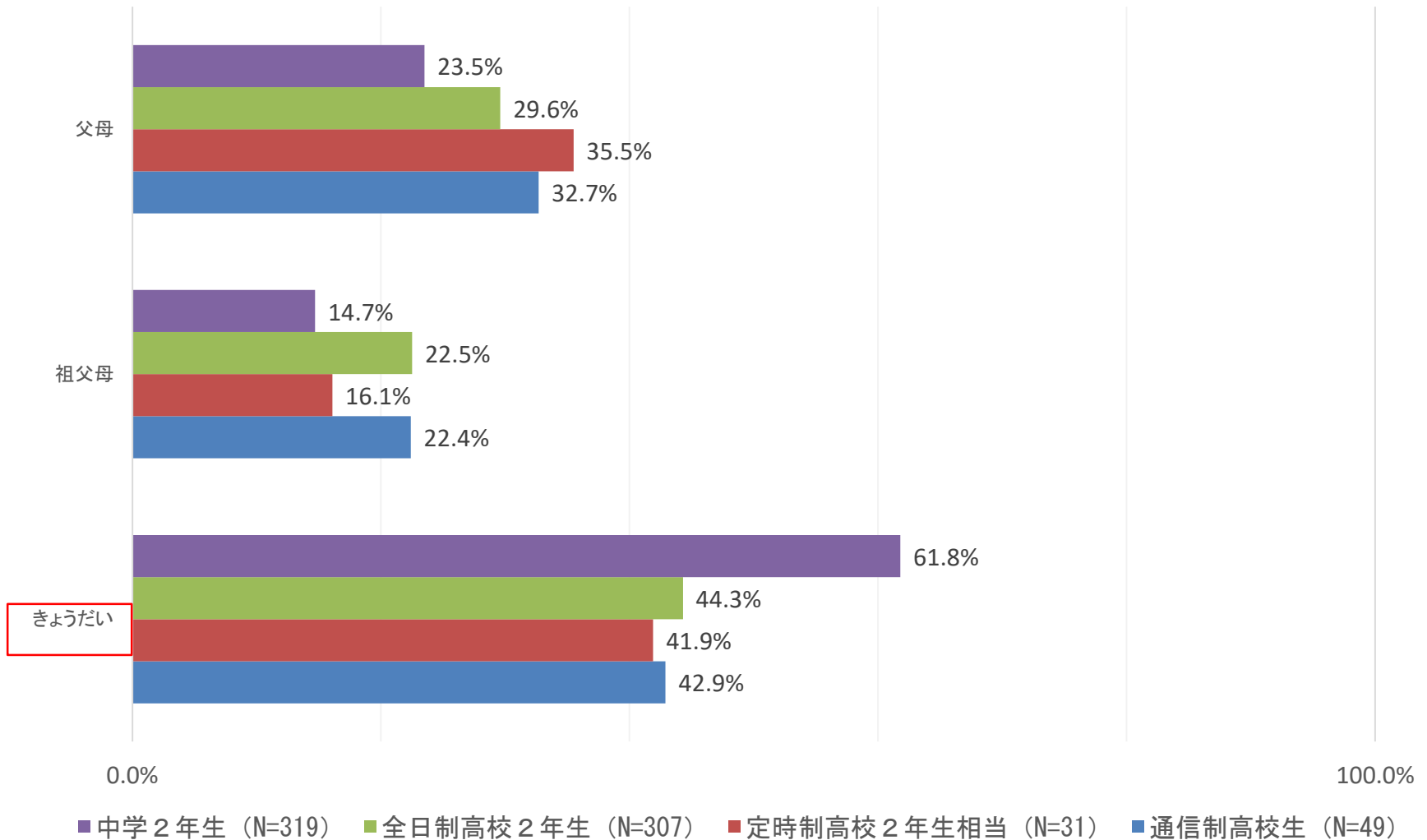
【通信制高校生】



※ 通信制高校生は、年齢を回答した「18歳以下」と「19歳以上」の合計（年齢の設問に無回答であった1名は対象外）。19歳以上は「いた（現在はお世話をしていない）」、「現在まで継続してお世話をしている」が「いる」に含まれる。

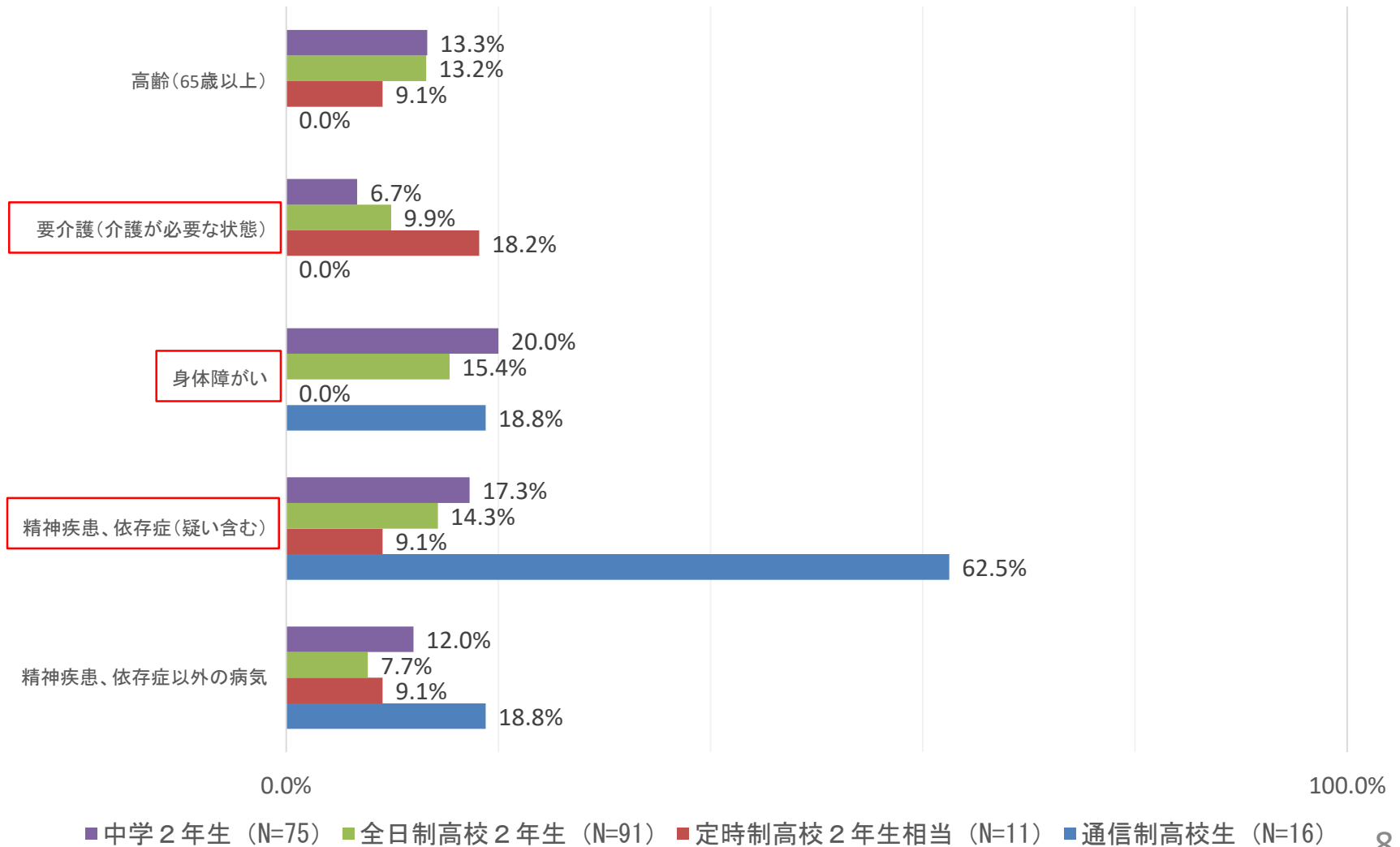
中高生調査結果②

- 世話をしている家族が「いる」と回答した中高生に、世話を必要としている家族について質問（複数回答）。
- いずれの学校種でも「きょうだい」が最も高い。特に、中学2年生は「きょうだい」の割合が他に比べ多い。



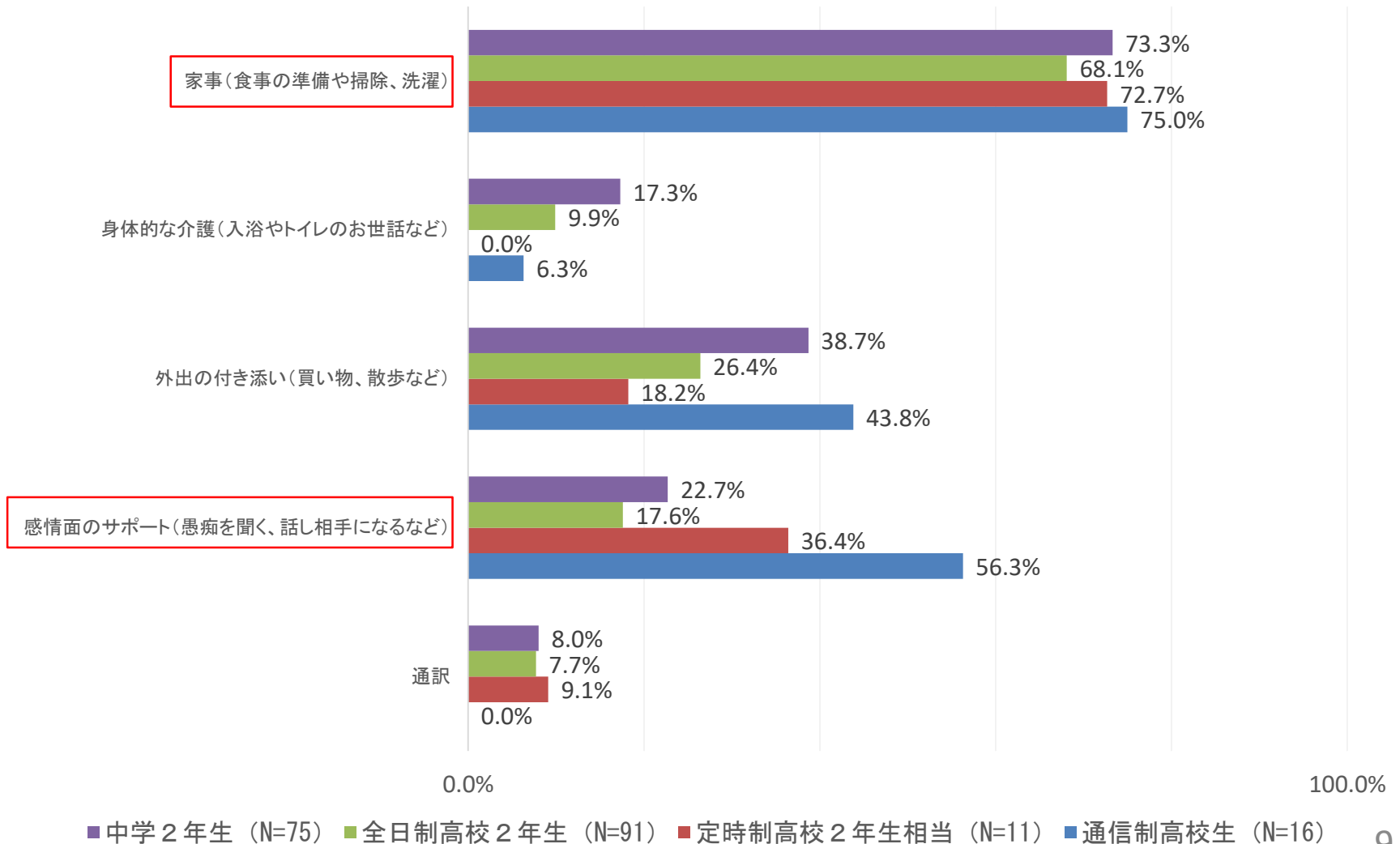
中高生調査結果③

- 世話を必要としている家族として「父母」と回答した中高生に、父母の状況を質問（複数回答）。
- 中学2年生、全日制高校2年生は「身体障がい」が最も高い。



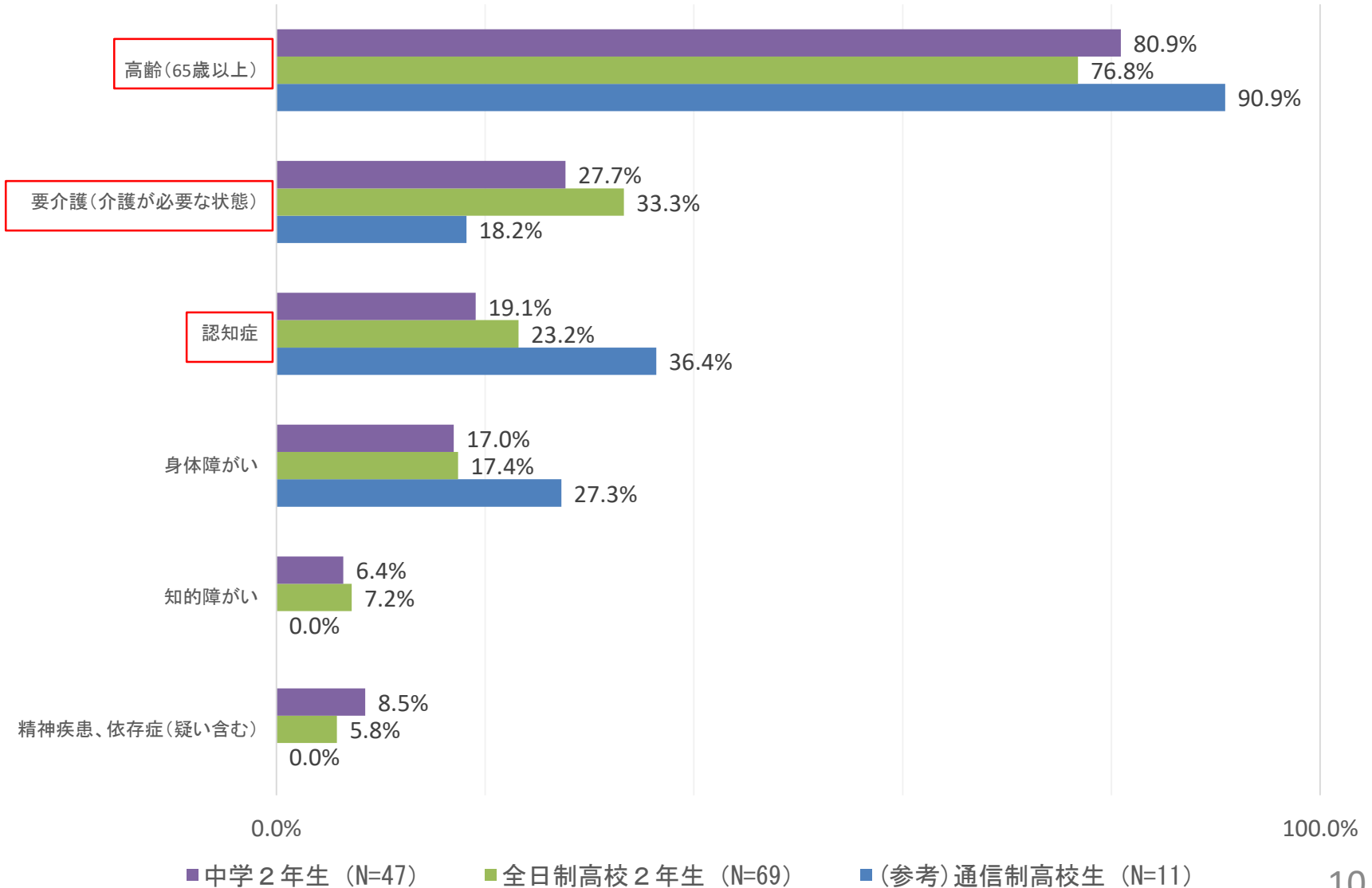
中高生調査結果④

- 世話を必要としている家族として「父母」と回答した中高生に、世話の内容について質問（複数回答）。
- いずれの学校種においても、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」が最も高い。



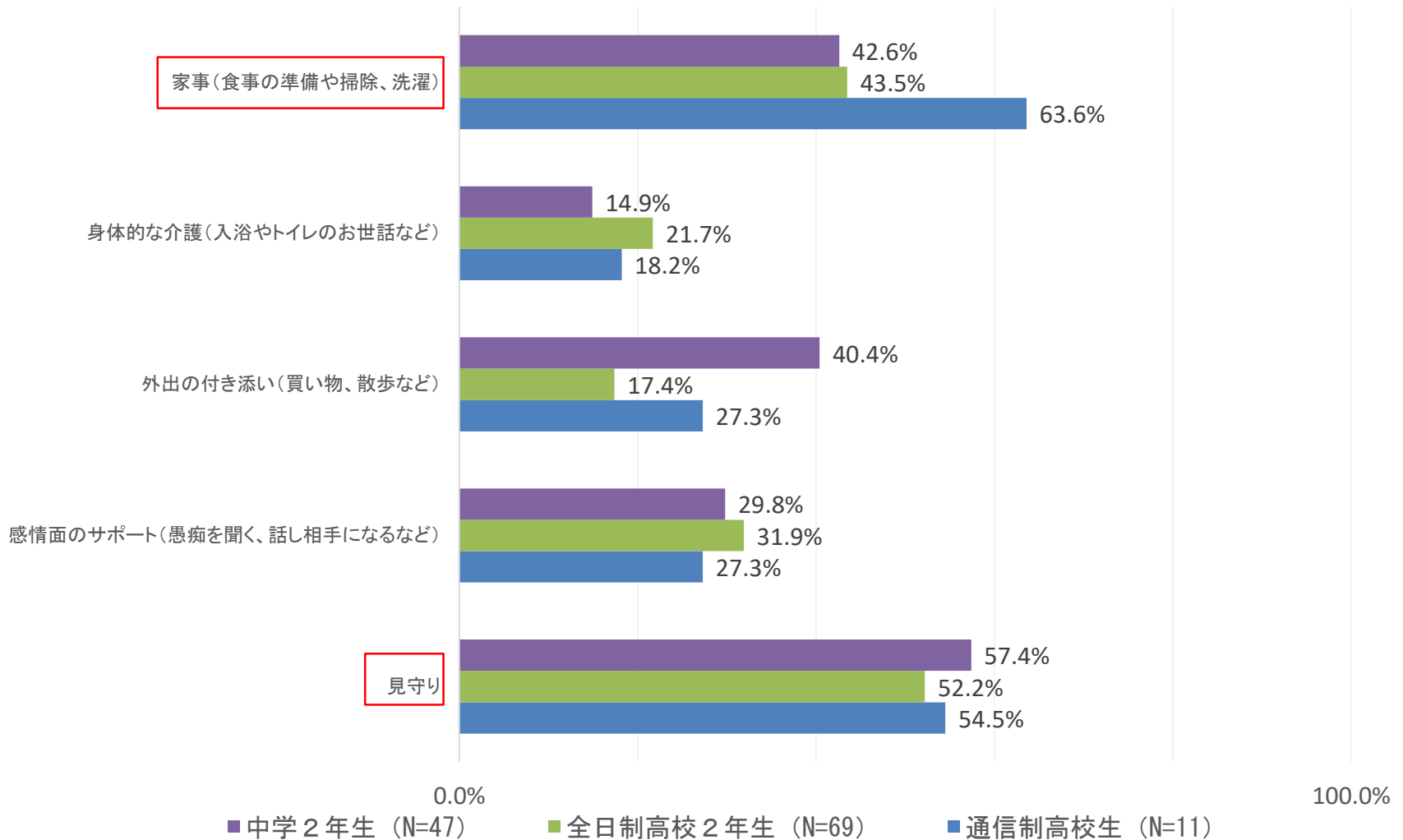
中高生調査結果⑤

- 世話を必要としている家族として「祖父母」と回答した中高生に、祖父母の状況を質問（複数回答）。
- いずれの学校種でも「高齢（65歳以上）」が最も高く、「要介護（介護が必要な状態）」、「認知症」も多い。



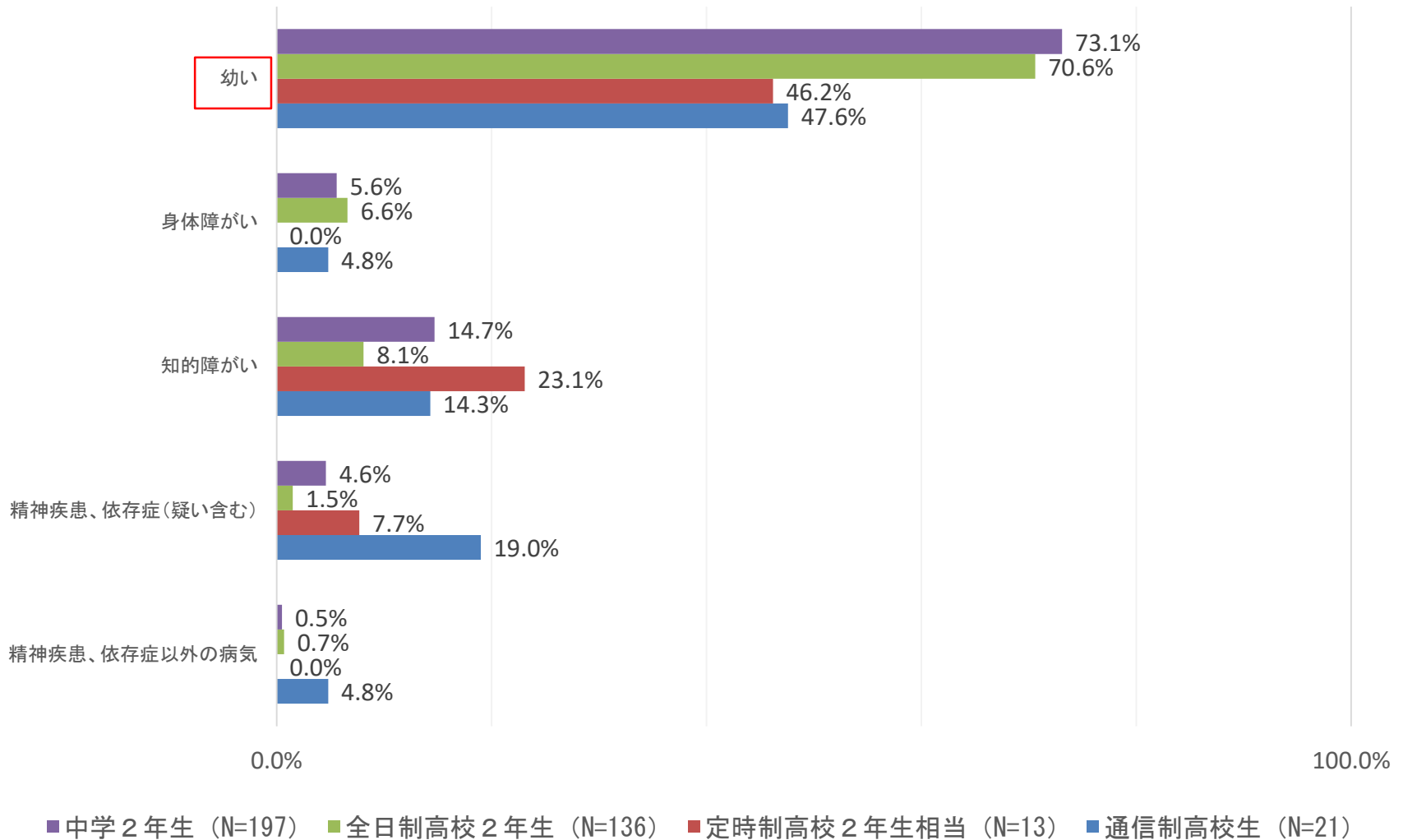
中高生調査結果⑥

- 世話を必要としている家族として「祖父母」と回答した中高生に、世話の内容を質問（複数回答）。
- 中学2年生、全日制高校2年生は「見守り」が最も高い。



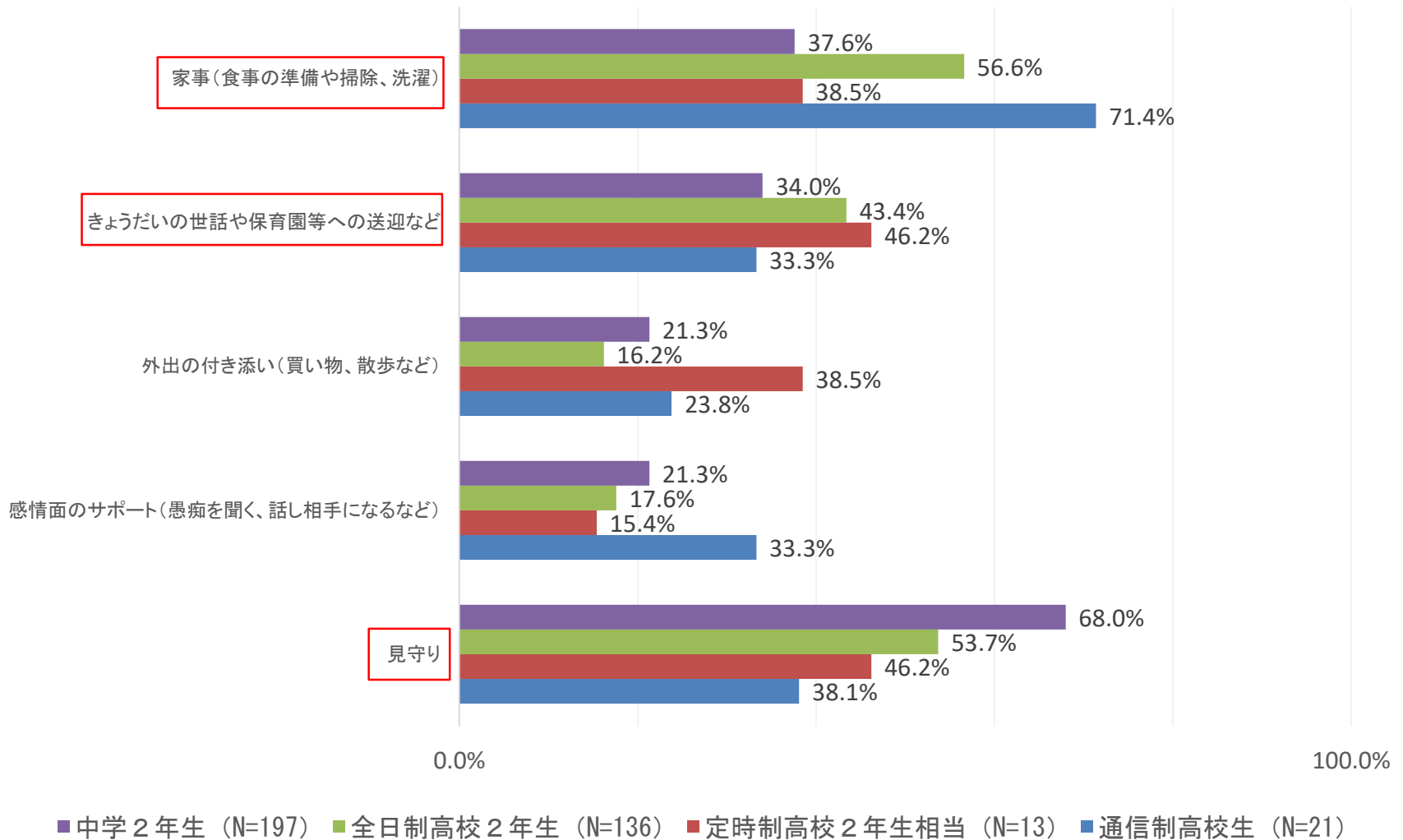
中高生調査結果⑦

- 世話を必要としている家族として「きょうだい」と回答した中高生に、きょうだいの状況を質問（複数回答）。
- いずれの学校種でも「若い」が最も高い。次いで「知的障がい」の割合は1～2割程度。



中高生調査結果⑧

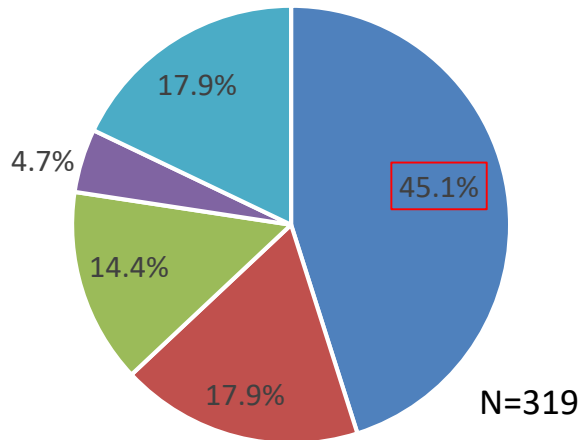
- 世話を必要としている家族として「きょうだい」と回答した中高生に、世話の内容について質問（複数回答）。
- 中学2年生、定時制高校2年生相当は「見守り」が最も高い。



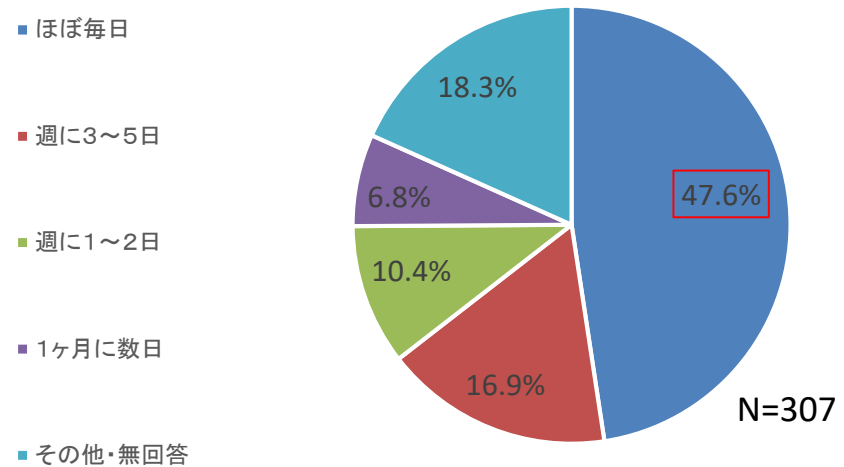
中高生調査結果⑨

- 世話をしている家族が「いる」と回答した中高生に、その頻度について質問。
- いずれの学校種でも「ほぼ毎日」が最も高い。

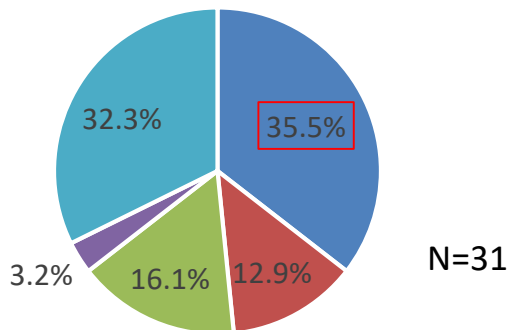
【中学2年生】



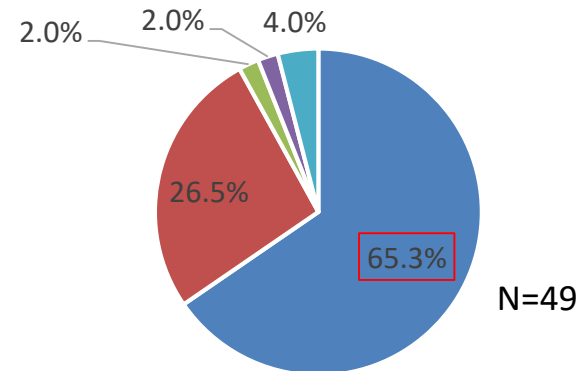
【全日制高校2年生】



【定時制高校2年生相当】



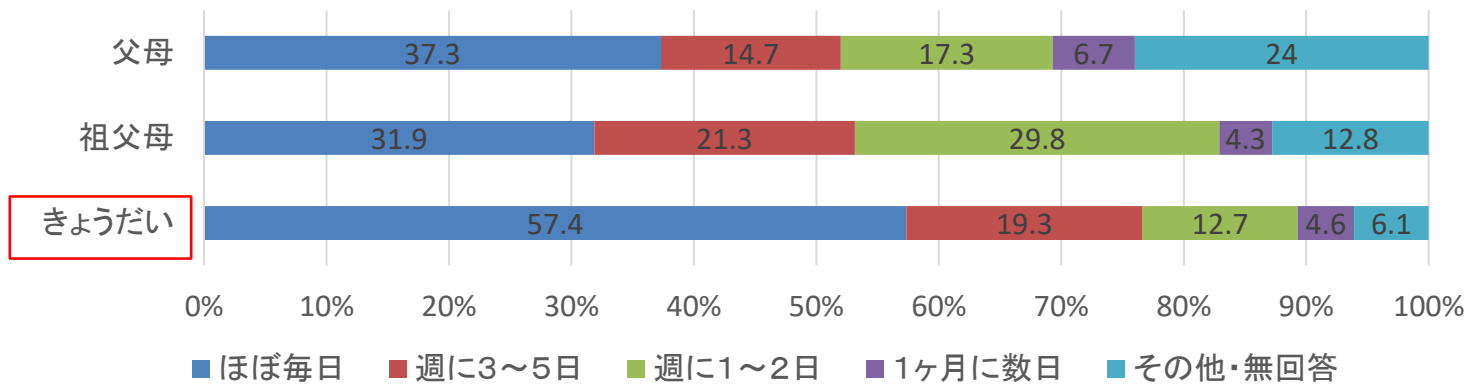
【通信制高校生】



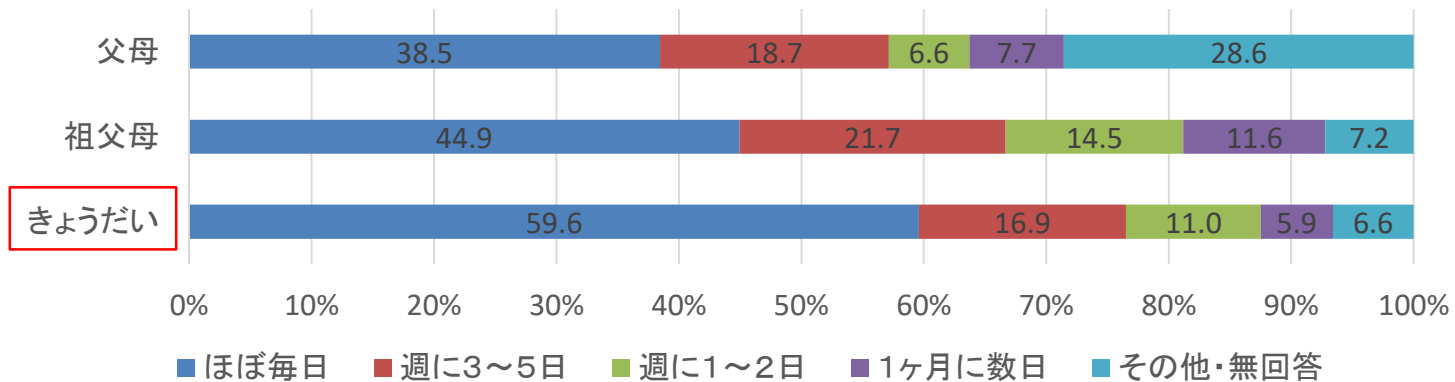
中高生調査結果⑩

- 世話をしている家族が「いる」と回答した中高生（※）に、世話をしている家族ごとに頻度を質問。
- 「きょうだい」については「ほぼ毎日」世話をしている割合が高い（約6割）。
- ※ 定時制高校2年生相当及び通信制高校生は対象者数が少ないため、掲載していない。

【中学2年生】 N=319



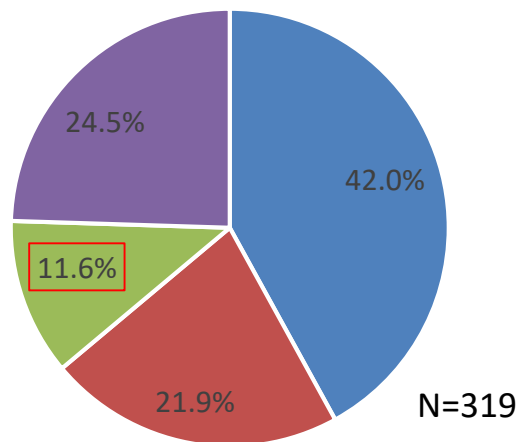
【全日制高校2年生】 N=307



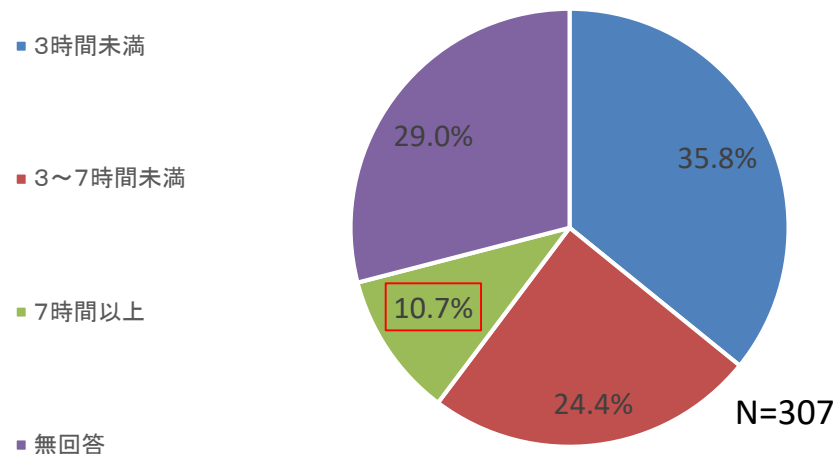
中高生調査結果⑪

- 世話をしている家族が「いる」と回答した中高生に、平日1日あたりに世話に費やす時間について質問。
- いずれの学校種でも7時間以上世話に費やしているのが約1～2割。
- 学校種別平均は、中学2年生は4.0時間、全日制高校2年生は3.8時間。

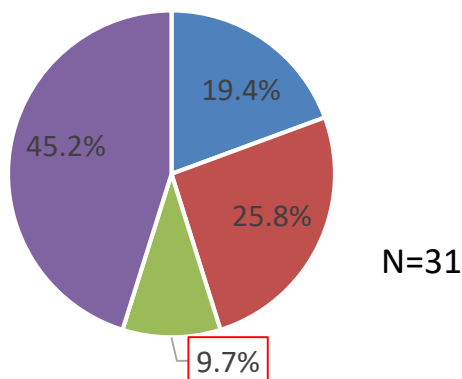
【中学2年生】



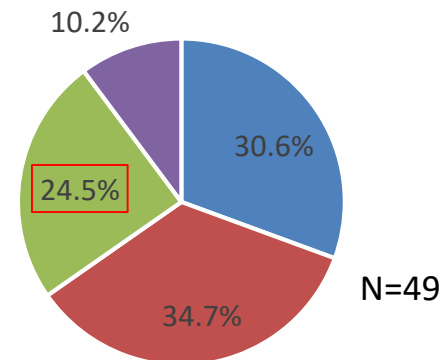
【全日制高校2年生】



【定時制高校2年生相当】



【通信制高校生】



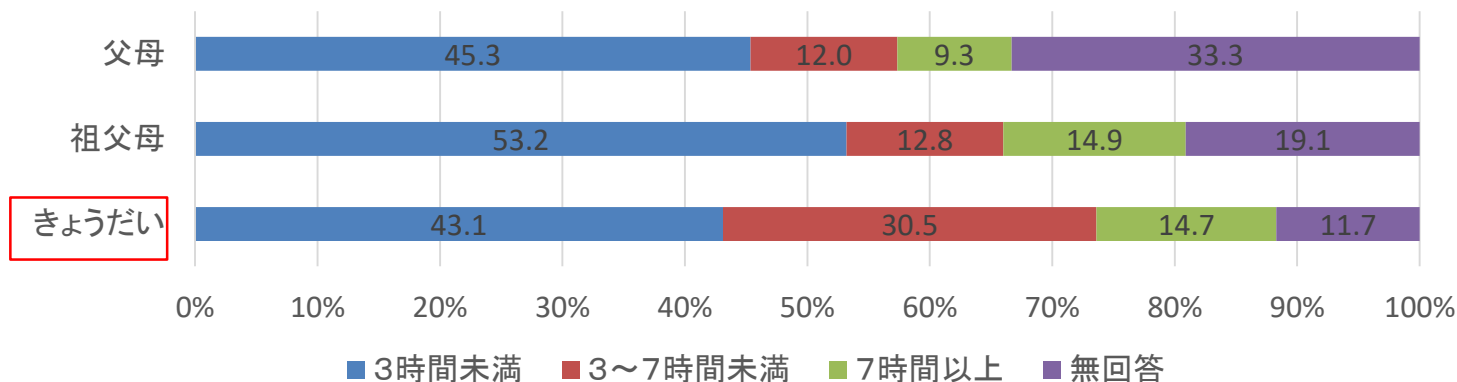
中高生調査結果⑫

○ 世話をしている家族が「いる」と回答した中高生（※）に、世話をしている家族ごとに平日1日あたりに世話に費やす時間について質問。

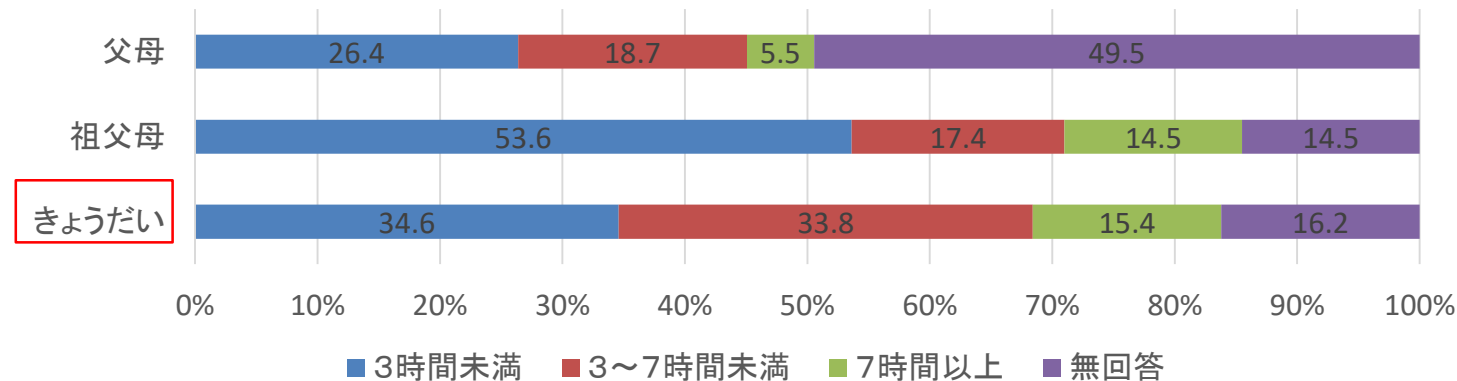
○ 「きょうだい」については「3～7時間未満」、「7時間以上」の割合が他と比べ高い。

※ 定時制高校2年生相当及び通信制高校生は対象者数が少ないため、掲載していない。

【中学2年生】 N=319

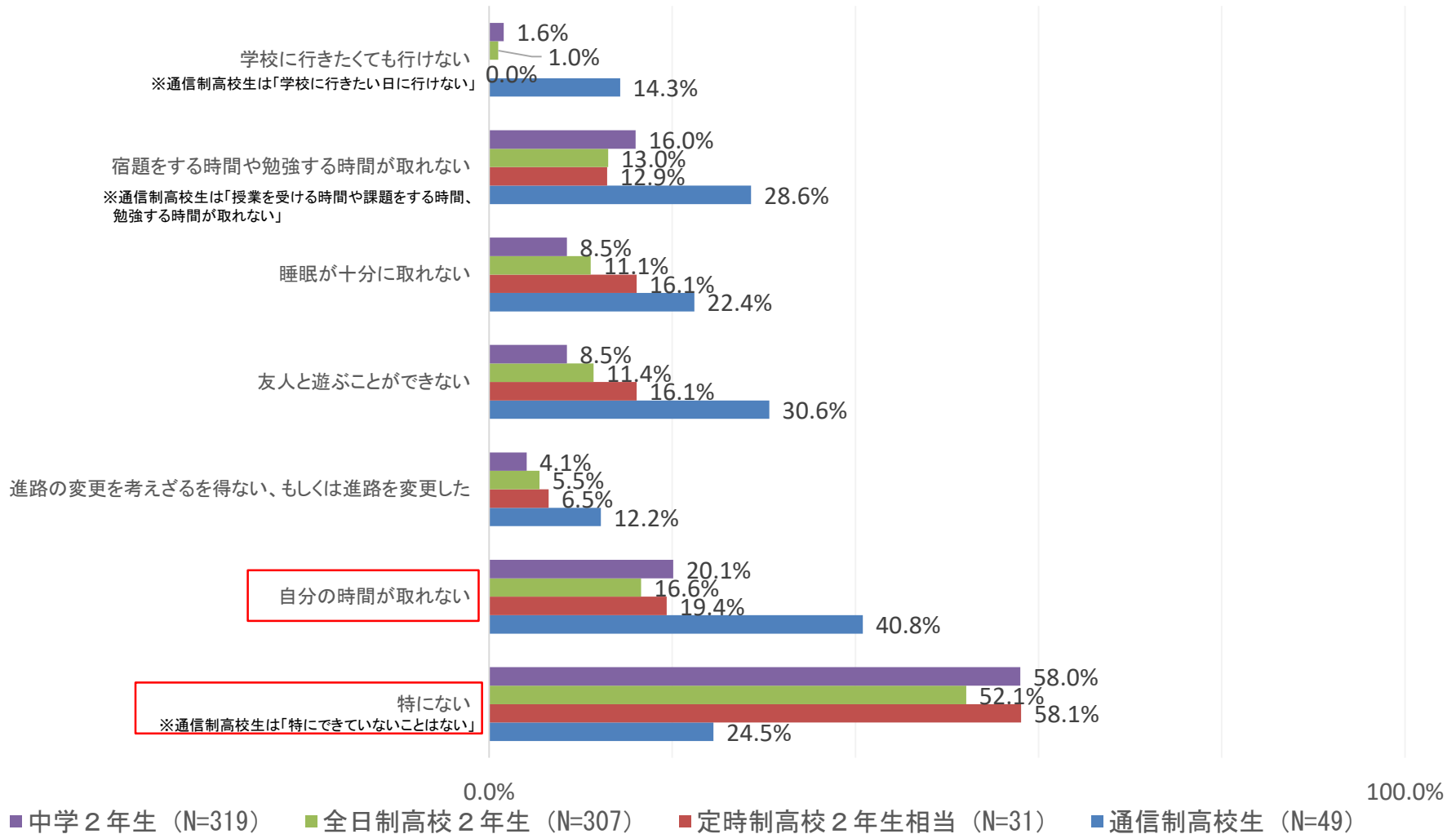


【全日制高校2年生】 N=307



中高生調査結果⑬

- 世話をしている家族が「いる」と回答した中高生に、世話をしているために、やりたいけれどできないことについて質問。
- 中学2年生、全日制高校2年生では「特にない」が最も高くなっているが、その他では、「自分の時間が取れない」が最も高くなっている。

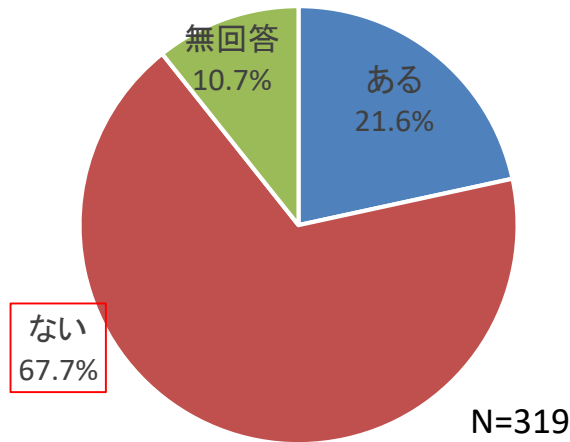


100.0%

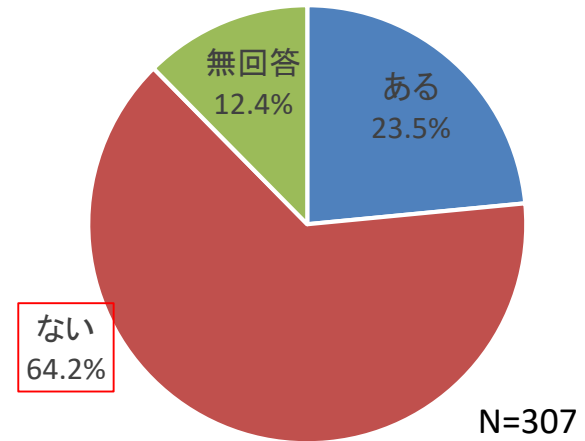
中高生調査結果⑭

- 世話をしている家族が「いる」と回答した中高生に、世話について相談した経験の有無について質問。
- いずれの学校種でも、相談した経験が「ある」が2～3割、「ない」が5～6割。

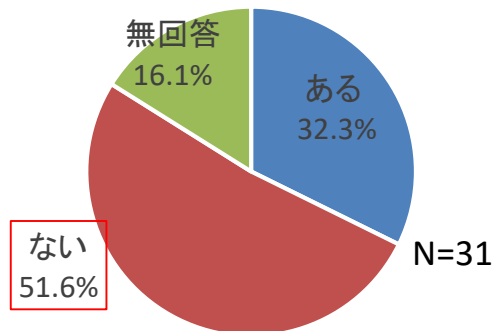
【中学2年生】



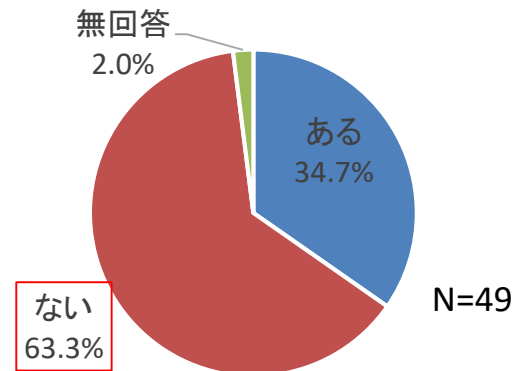
【全日制高校2年生】



【定時制高校2年生相当】

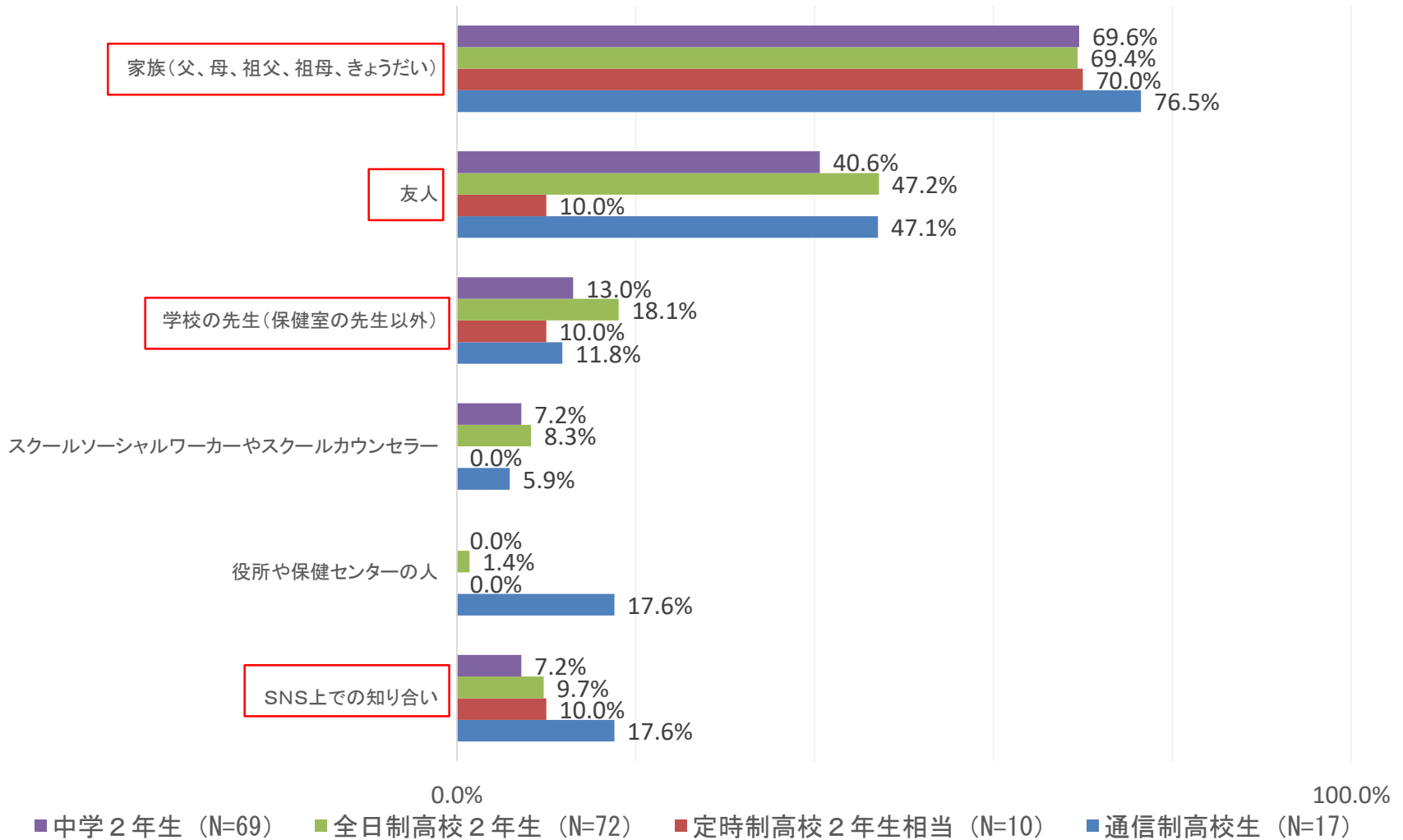


【通信制高校生】



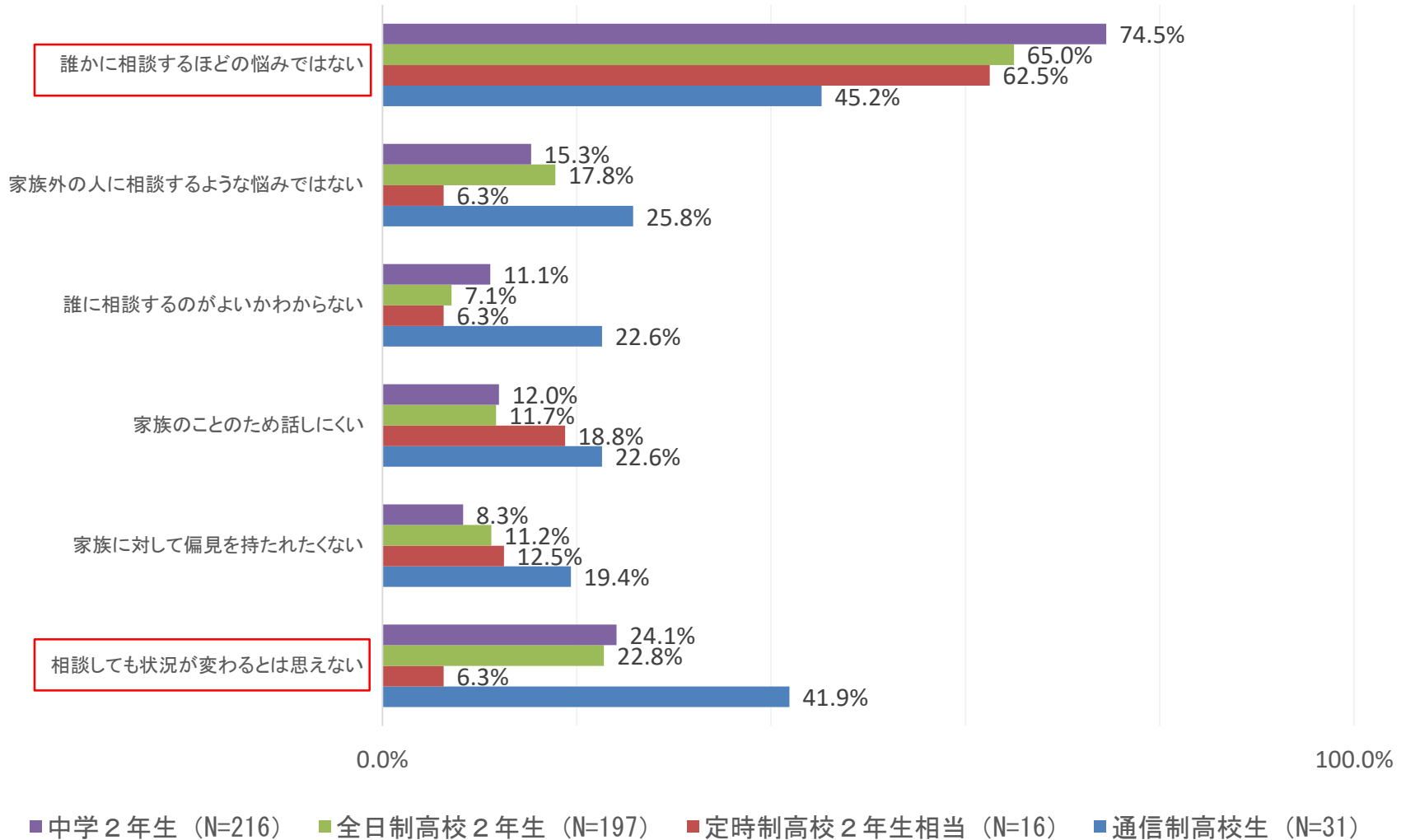
中高生調査結果⑮

- 世話について相談した経験が「ある」と回答した中高生に、相談相手について質問。
- 「家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）」が最も高く、次いで「友人」が高い。
- 「学校の先生（保健の先生以外）」や「SNS上での知り合い」も1割前後あった。



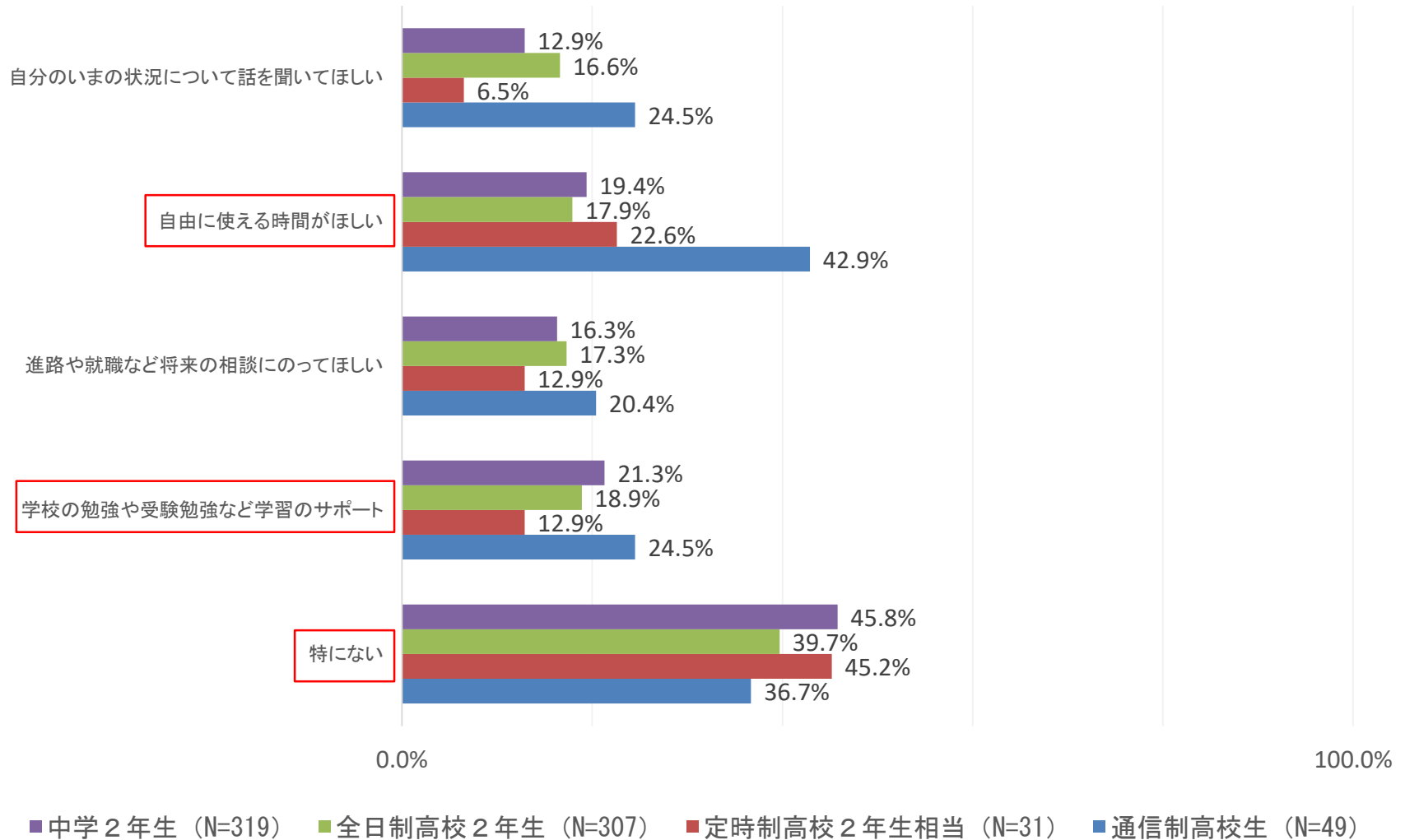
中高生調査結果⑬

- 世話について相談した経験が「ない」と回答した中高生に、その理由について質問。
- 「誰かに相談するほどの悩みではない」が最も高く、次いで、「相談しても状況が変わるとは思わない」が高い。



中高生調査結果⑰

- 世話をしている家族が「いる」と回答した中高生に、学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援について質問（複数回答）。
- 通信制高校生を除き、「特にない」が約4割で最も高い。それ以外では「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」、「自由に使える時間がほしい」が高い。

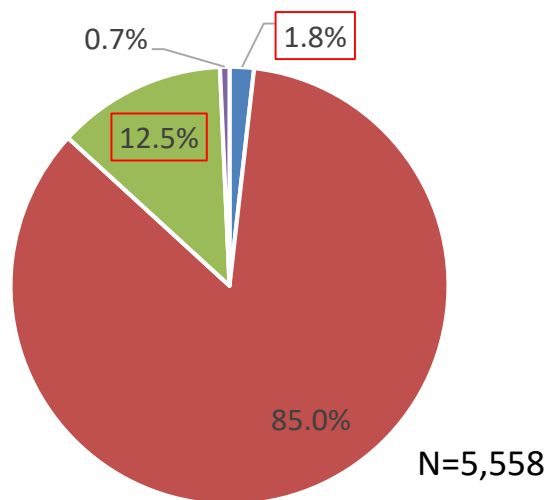


※ 通信制高校生は「18歳以下」と「19歳以上」の合計。

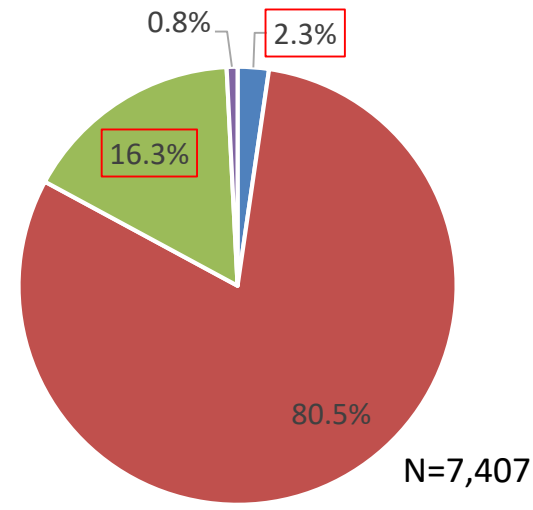
中高生調査結果⑱

- 中高生に対し、自分がヤングケアラーにあてはまると思うかについて質問。
- 中学2年生、全日制高校2年生では「あてはまる」が約2%、定時制高校2年生相当は4.6%、通信制高校生は7.2%。
- いずれの学校種でも「わからない」が1～2割。

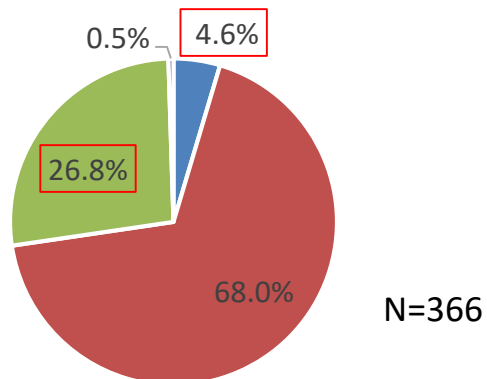
【中学2年生】



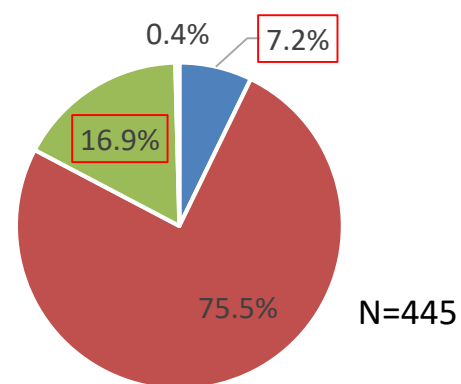
【全日制高校2年生】



【定時制高校2年生相当】



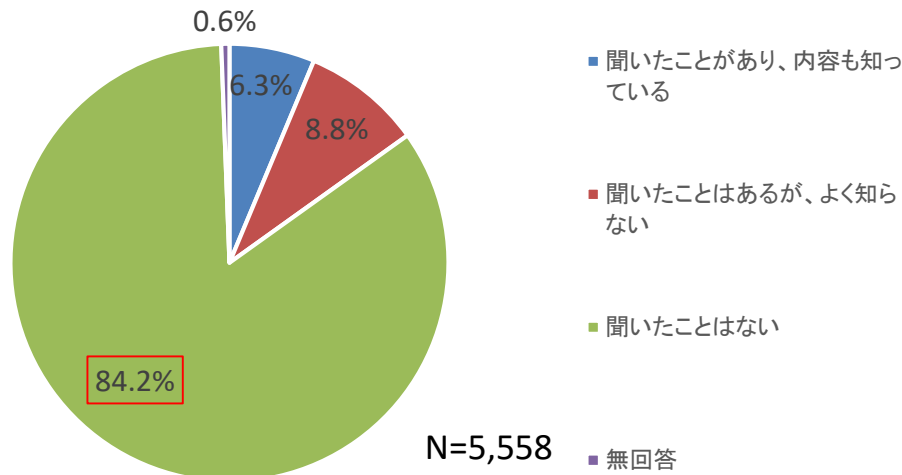
【通信制高校生】



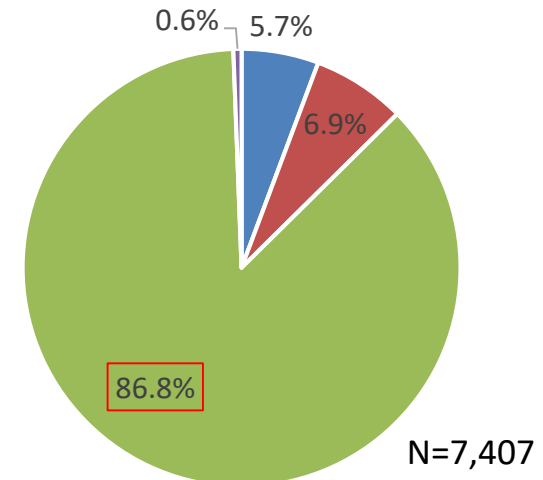
中高生調査結果⑱

- 中高生に対し、ヤングケアラーの認知度について質問。
- いずれの学校種でも「聞いたことはない」が8割以上を占め、「聞いたことがあり、内容も知っている」、「聞いたことはあるが、よく知らない」がどちらも1割未満。

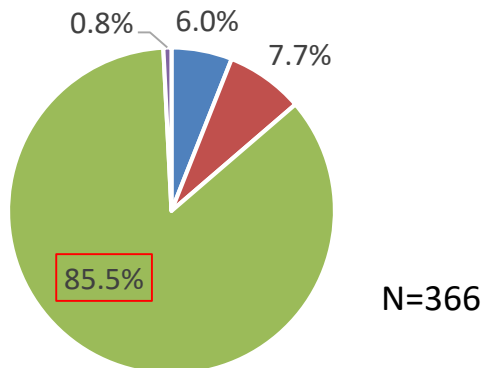
【中学2年生】



【全日制高校2年生】



【定時制高校2年生相当】



【通信制高校生】

